

労働會副會長トシテ運動スルノ意アリヤト質シ  
名ニ待ニ勿論アリト答ヘテ然ラバソク労働會  
ニ復歸シテ副會長トシテ活動シテハ何ト問ヒテ  
ルニ日本労働聯盟ノ幹部ト協議ノ上同意ヲ得  
テ後日回答スル答ヘテ別々分カニ何ホノ通知ニ  
也スレト會見願未ヲ述ベ安達林作問致盛シ  
起リシ之後尙漸時回答ヲ待ツ報謝決セリ。

次ニ五十嵐ハ陸軍佐理局長トノ會見ノ模様及ビ  
其ルカニ日ノ兵器局長トノ會見願未亦極先ス  
佐理局長ハ日本労働聯盟ノ提呈シタル要求ハ  
一審ニ付テハ賛成スベキ矣アレ共中議ヲ目的トモカ  
ノ觀アリ又兵器局長ハ工廠内ニ於ケル但念ノ成立ヲ

労働會員ノ存ニテソク労働會ヲ維持セン考ナ  
リト然レノ意ノ已至ヲ述ベ先ニ盛ニ賛意ヲ表セリ  
其一日進捗會ニ出席ヲ求ムルニ私人トシテ出席スル  
旨ヲ快諾セシ

即日提理、庶務課長、名製造部長、ニモ會ニ  
賛同ヲ得タリ

尚一昨日モ尙ト會見ニ協賛之義ヲ奉願トモ  
ソク労働會ヲ従業員ノ存ニテハ初スル事ヲ  
約セリト極先セリ

画像會ハ上列委員ヲ選ビ実行方法ヲ之ハ人ニ  
一任ス施シハ最中長者ニシテ従業員中殉難事  
件ニ最モ多ク経験ヲ有スル者ヲ製造部ノ三浦